

白崎 彩子

東京芸術大学ピアノ科卒業、マンハッタン音楽院ジャズピアノ科修士課程卒業。

5歳よりクラシック、10歳よりジャズ愛好家の父のガイダンスでジャズピアノを始める。

第3回浅草ジャズコンテストを最年少（14歳）での優勝を始め、第1回ハイネケン・ジャズ・コンペティション第2位、Great American Jazz Piano Competition第3位、等数々の賞を受賞。

1997年よりNYに拠点を移し、ピアノをケニー・バロン、ブルース・バース、テッド・ローゼンターの各氏に師事する。

これまでにデビュー作、「EXISTENCE」を初めとした6枚のアルバムをリリース。

2009年よりJan Matthies Music Management(ドイツ、ハンブルグ市)とアーティスト契約をし、以来毎年ドイツを中心としたヨーロッパツアーを行っている。

2010年、ピアノソロアルバム「Falling Leaves - Live in Hamburg」をリリース、「Down Beat」をはじめとした米国ジャズ雑誌から高い評価を得る。

2011年、スイス「ルツェルン音楽祭」出演の際、クラシックピアノ界の巨匠、マウリツィオ・ポリーニ氏より直々リクエストを受け、演奏を絶賛される。

2013年、カザフスタン共和国の首都アスタナで行われた芸術祭「Japanese Spring」に招聘され自己のピアノトリオでコンサートに出演。

2013年7月、ピアノトリオアルバムとしては8年ぶりのリリースとなる「Some Other Time」を発表、同時にジャパンツアーを行い各地で大好評を博す。

現在はピアノソロ、トリオをメインに日米、ヨーロッパで精力的に演奏活動を行う傍ら、2010年NYで「さくらミュージックスクール」を開校、乳幼児の日本語音楽クラスやピアノ個人指導に力を入れている。繊細且つ奔放なタッチとフレーズは多くの聴衆を魅了してやまない。

